

# 環境先進都市を目指して

## 今、動き続けています。

21世紀は「環境の世紀」と言われています。これまで、私たちの社会は、経済の発展に伴って大量生産・大量消費・大量廃棄を繰り返し、その結果、地球温暖化やオゾン層の破壊、有害物質による生態系への影響などさまざまな地球環境問題を引き起こしてきました。

現在、こうした問題の反省をもとに、環境への負荷をできる限り少なくした社会活動が生まれ、自然とのふれあいが保たれた社会、すなわち「持続可能な社会」を構築するための取り組みが、さまざまな分野で始まっています。そこで今回は、狭山市の環境への取り組みについてご紹介します。

### これまでの狭山市の環境施策

市では、これまでの社会のあり方を見直し、自然と調和したリサイクル型社会を実現させるために、平成8年11月2日に全国で3番めとなる「リサイクル都市宣言」を行いました。そして平成10年3月には、「みどりに恵まれたうるおいのある環境の確保」「環境にやさしい地域社会の実現」「環境学習と環境保全への積極的行動の促進」という3つの基本目標を掲げた「環境基本計画」を策定し、市民・事業者・市・市民団体のパートナーシップにより、狭山市の望まし

い環境イメージである「みどりを友とし地球にやさしい都市・さやま」の実現に向けさまざまな事業を展開しています。

市では、この計画の実現に向け、率先して事務・事業に伴う環境負荷を減らし、よりよい環境の創造に努めるために、平成12年6月9日に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を認証取得しました。そして現在は、市内の事業者に対してISO14001への取り組みの輪を広げ、地域全体の環境負荷の低減に努めています。

## 狭山市の環境施策



写真上左花が咲き乱れる時期に、入間川の河川敷にある公園を散歩する親子 / 写真上右不老川クリーン作戦に参加した親子のさわやかな笑顔 / 写真中央大切にしたい、入間川の澄んだ流れ

環境基本計画に基づき平成12年度の取り組み

「みどりを友とし地球にやさしい  
まち・さやま」を実現するため、3つの基本目標を定め、さまざまな事業を展開しました。

基本目標1

みどりに恵まれたうるおいのある環境の確保

自然や生物との共生を図り、狭山の緑豊かな貴重な自然環境を保全するため、平地林の公有地化を進めるとともに、市民の憩いの場として入間川河川敷に桜の木を植樹しました。



平成12年度・緑地公有地化面積(累計)

|        |           |
|--------|-----------|
| 狭山市所有  | 6.44ヘクタール |
| 埼玉県所有  | 1.11ヘクタール |
| 市民団体所有 | 0.03ヘクタール |
| 合計     | 7.58ヘクタール |

平成12年度・景観地指定面積(累計)

|                  |             |
|------------------|-------------|
| 堀兼・上赤坂ふるさとの緑の景観地 | 78.77ヘクタール  |
| 桐山ふるさとの緑の景観地     | 19.32ヘクタール  |
| 水野ふるさとの緑の景観地     | 11.84ヘクタール  |
| 南入間野ふるさとの緑の景観地   | 7.05ヘクタール   |
| 逃水ふるさとの緑の景観地     | 10.64ヘクタール  |
| 合計               | 127.62ヘクタール |

1ヘクタール=1万平方メートル



入間川河川敷の桜

基本目標2

環境にやさしい地域社会の実現

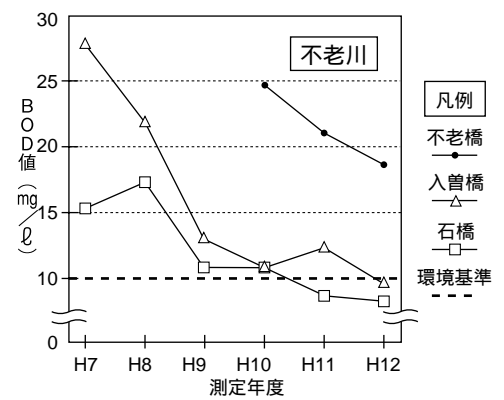
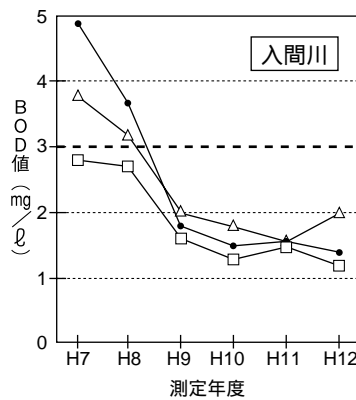
人の健康を損なう恐れのある化学物質、ダイオキシン類の対策として、産業廃棄物処理施設の適正な管理と監視を進め、環境基準などの遵守と健康被害の未然防止を目的として県と近隣市町が合同で行政境付近のパトロールを実施することも、国などへの要望活動を実施しました。



人の健康を損なう恐れのある化学物質、ダイオキシン類の対策として、産業廃棄物処理施設の適正な管理と監視を進め、環境基準などの遵守と健康被害の未然防止を目的として県と近隣市町が合同で行政境付近のパトロールを実施することも、国などへの要望活動を実施しました。

河川の水質調査(入間川・不老川)

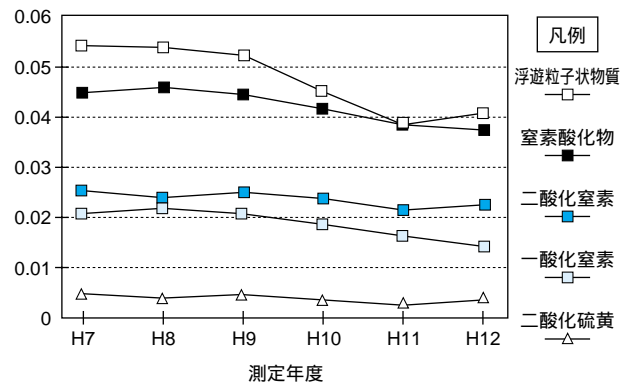
BOD...河川などの水の汚れを示す代表的な指標



大気汚染物質濃度(堀兼地区)



埼玉県で堀兼地区(堀兼公民館地内)に設置している、大気汚染常時監視測定局



また、環境汚染防止のため、大気や河川の汚染(右図参照)、航空機騒音の調査を実施し、県など関係機関との連携により、大気や水質に関する事業所の監視指導を行いました。さらに、環境への負荷の少ない循環型社会を実現するため、生ごみ処理機器や雨水貯留・浸透施設の設置

を助成し、はかり売りや簡易包装などの推進を積極的に行っている商店や事業所に対しては、環境にやさしい店・事業所として認定しました。他にも、市内事業所と協力して古紙回収を行い、「トイレットペーパー」狭山の森をつくるなど、より具体的な事業を展開しました。